

枚方市立図書館第3次グランドビジョン「重点施策」進捗状況表

【運営方針①】基礎的な図書館サービスを充実します

別添1

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
b. 資料・情報提供機能の充実	求めに応じたレファレンスサービスの充実	レファレンスサービスの周知と利用促進	従前の取り組みを継続	レファレンスサービスの認知度調査結果と利用回数	<input checked="" type="checkbox"/> 「レファレンスサービス」の文言のカウンター上への掲示の義務付け及び可能な範囲での専門コーナー設置 <input type="checkbox"/> 館内での「レファレンスサービス」の周知を図る掲示及びホームページでの重点的な周知					「レファレンスサービス」の表示を行い、窓口や電話でのレファレンスに応えた。レファレンスに関する認知度調査結果は、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は19.7%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は32.3%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は46.3%であった。	
		(参考事例)									
d. 図書館という空間の魅力向上	滞在型図書館への移行	* 座席数の拡大	30年度 達成予定	満足度調査 (居心地)	<input type="checkbox"/> 座席数拡大計画の立案	<input type="checkbox"/> 机・イス購入費用の予算要求	<input type="checkbox"/> 座席数の拡大				平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。
		* 飲み物コーナーの設置			<input type="checkbox"/> 図書館での飲み物持込ルールの作成	<input type="checkbox"/> 可能な館でのコーナー設置	<input type="checkbox"/> 座席の拡大と合わせたコーナー設置			平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。	
		* 居場所としての機能のPR			<input checked="" type="checkbox"/> 市民の居場所機能に着目した滞在型図書館を目指すこと各種PRの実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左			夏季に「避暑空間」としての図書館利用のPRを行った。	
		* お一人様スペースの設置			<input type="checkbox"/> (設置可能な年度から) 机をパーテーションで区切るなど、一人になれるスペースの確保に向けた計画の立案及び実施					平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。	
										図書館が滞在に適した空間であるかどうかの満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は59.8%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は16.2%であった。	
		(参考事例)									
		* 自習室の設置等、和やかスペースと静かな環境の分離	30年度 達成予定	満足度調査 (利便性)	<input type="checkbox"/> 館ごとの設置場所及び管理手法等の検討	<input type="checkbox"/> 最低限の施設改修に必要な予算要求	<input type="checkbox"/> 施設改修後に(仮称)自習室を設置・運用開始				平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。
		* グループ学習が可能な場の確保			<input type="checkbox"/> 中央図書館でのグループ学習室の運用開始及び分館でのセンター利用を前提としたグループ学習利用の検討	<input type="checkbox"/> 分館での運用開始				平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。	
* Wi-Fi環境整備の検討	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理館での環境整備	<input type="checkbox"/> 中央図書館での環境整備の検討及び予算要求			<input type="checkbox"/> 中央図書館・分館でのWi-Fi環境の提供			蹉跎・牧野でWi-Fi環境が整備された			
									図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は30.2%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は36.7%であった。		

【運営方針②】家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点						平成28年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
a. 課題解決 支援	情報活用能力の育成	図書館及び情報利活用講座の開催	28年度以降継続	開催の有無及び回数・ 参加者数	■講座実施計画 の作成 □同左 ■図書館利用・ 活用、情報収 集、情報整 理、情報利用 ・活用講座等 の開催	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	「レファレンス体験」の実施 (年10回 計14人参加)
		ビブリオバトルの実施		開催の有無及び回数・ 参加者数	■ビブリオバト ルの開催	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	
	社会状況を踏まえたレ ファレンス・レフェラル サービスの充実	子育て・医療・健康づくり関連の 資料・情報提供、講座等の開催	28年度以降継続	*左記主題のレファレ ンス・レフェラルサー ビス件数	□専門コーナ ーの設置 □窓口や出入 り付近への図書 館作成関連情 報提供パンフ の設置 □関連講座の開 催 など	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	・子育て・子どもに関するパ スファインダーを作成した。 ・平成29年度に子育て・健 康づくりをテーマにした特集 コーナーの設置を行う。 ・平成28年度の中央図書 館・分館のレファレンス件数 合計は3,094件
		その他社会状況を踏まえた必要な 資料・情報提供、講座等の開催		*満足度調査(資料・ 情報提供等に対する積 極的な姿勢)	■就労・福祉・ 年金・生きがい 作り・地域づく りほか、市民が 抱えるさまざま な課題の解決に 必要な資料・情 報の提供及び関 連講座等の開催	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	
	b. 地域社会 の結びつきの 再生に向けた 支援	地域活動に参加する人材 を求めると地域活動を 始めたい人の出会いの場 の提供	市内ボランティア団体の情報提供	29年度以降継続	団体リスト作成の有無	□市内ボラン ティア団体の調 査、リスト掲載 意思の確認、リ スト作成、	□同左	□同左	□同左	□同左	市内ボランティア団体の調 査、リスト掲載意思の確認、 リスト作成した。
			ボランティア紹介イベントの開催		開催の有無及び回数・ 参加者数	□ボランティア 志望者とボラン ティア団体を結 びつけるイベン トの実施	□同左	□同左	□同左	□同左	市内で活動する読書ボラン ティアの交流会を開催した。
図書館でのボランティア機会の提 供			従前の取り組み を継続	登録人数・参加人数	■書架整理、寄 贈本整理、図書 修理、受付・案 内など従来のボ ランティア機 会の提供を継続	□同左	□同左	□同左	□同左	登録された115人の市民等 に対し、お話し会、書架整理、 寄贈本整理、図書修理、受 付・案内など従来のボラン ティア機会の提供を行った。	

【運営方針③】教育的役割を重視した取り組みを推進します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点						平成28年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
子ども読書活動の推進 (最重点施策)	読書の楽しさを伝える児童書の充実	質の高い図書の積極的な購入	従前の取り組みを継続	児童書の評価作業と評価結果に基づく資料収集の継続	□蔵書計画の児童書部分の改訂	□新たな蔵書計画に基づく資料収集	□同左	□同左	□同左→	・蔵書計画の児童書部分について、改訂作業を実施した。 ・多言語で書かれた児童書の購入を行った。
		評価が定まった図書の汚損・破損分の買い替えの推進	従前の取り組みを継続	汚損・破損冊数に対する買い替え冊数の割合	■評価が定まった図書につき、従前どおりの買い替えを実施	□同左	□同左	□同左	□同左→	図書の汚損・破損分の買い替え等を行った。(買い替え3,980冊)
	読書への動機付けの推進	年齢に応じたおすすめ図書案内パンフの作成・配布	従前の取り組みを継続	配布枚数	■年齢層ごとの図書案内パンフの作成・配布	□同左	□同左	□同左	□同左→	幼児から小学生向け「おすすめの子どもの本」リスト、中学生・高校生向け「おすすめの本」リストを作成し、市内全小中学校へ配布した。
		おはなし会ほか各種イベントの実施	28年度以降継続	イベント実施回数・参加者数	■読書への動機付けとなる子ども向け各種イベントの開催	□同左	□同左	□同左	□同左→	読書への動機付けとなる子ども向け各種イベントの開催した。
		読書通帳の発行に向けた検討	30年度達成予定	検討の実施・未実施	□読書通帳導入の可能性について検討し、結論を出す→					読書通帳に関する各種情報収集を行った。
	乳幼児期からの読書習慣を育てる	これからお母さん・お父さんになる「プレママ」「プレパパ」対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催(マタニティスクール等への出前も検討)	28年度以降継続	開催の有無及び回数・参加者数	□「プレママ」「プレパパ」対象の講座の開催(開催場所については図書館に限定しない)	□同左	□同左	□同左	□同左→	乳幼児向けの読み聞かせ講座開催に向けた検討を行った。
		保護者等対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催		開催の有無及び回数・参加者数	■保護者や絵本の読み聞かせに関心のある市民向けの図書館内での講座の開催	□同左	□同左	□同左	□同左→	読み聞かせボランティア養成講座を開催した。
		赤ちゃん向けブックリスト等年齢に応じたブックリストの配布		配布枚数	■乳幼児期の各年齢に応じたブックリストの作成・配布	□同左	□同左	□同左	□同左→	赤ちゃん向けブックリスト「あかちゃんといっしょにはじめてのえほん」を配布した。
		保育所(園)・幼稚園等における読書支援	29年度以降継続	団体貸出実施回数・冊数	□保育所(園)・幼稚園等に対する団体貸出等の読書支援の実施	□同左	□同左	□同左	□同左→	平成29年度以降、支援を開始予定。
		保育士・幼稚園教諭等との相互交流の推進		開催の有無及び回数・参加者数	□保育士・幼稚園教諭等との子ども読書に係る情報交換等の実施	□同左	□同左	□同左	□同左→	平成29年度以降、情報交換の開始予定

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
子ども読書活動の推進（最重点施策） a. 読書習慣の育成	学齢期の読書習慣を育てる (学校図書館支援)	全市立中学校への学校司書派遣	30年度達成予定	派遣校数	■10校への派遣	□10校への派遣	□19校への派遣				平成26・27年度3校に学校司書を配置した。平成28年度には新規7校を加えて、計10校に配置した。
		学校図書館蔵書データ化と学校間のオンライン化支援	28年度以降継続	*データ入力マニュアル等作成の有無 *データ入力済冊数 *オンライン化実施・未実施	<ul style="list-style-type: none"> ■オンライン化の実施 ■データ入力マニュアルの作成 ■システム運用マニュアルの作成 ■データ入力の実施 ■システム運用研修の実施 	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	10月～1月、4カ月間で全ての小中学校の蔵書約50万7千冊の蔵書データ登録を完了した。 データ入力に当たっては、「学校図書館蔵書データ入力作業マニュアル」を作成し、10月3日に操作研修を図書館臨時職員対象に実施した。 司書教諭研修においては、6月に蔵書データ入力の準備作業について説明し、2月に操作研修を実施した。
		市立図書館コンピュータシステムとのオンライン化	28年度以降継続	オンライン化実施・未実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市立図書館と学校図書館のコンピュータシステムのオンライン化の実施 □学校図書館蔵書の利用状況分析と蔵書への反映 □学校への利用状況報告及び司書教諭と連携した読書指導 	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の蔵書を市立図書館のシステムとデータベース化・オンライン化させることで、市立図書館の蔵書約127万冊の検索が可能になった。 ・平成29年度よりシステムを活用して各校の蔵書冊数・貸出冊数等の統計をとることで蔵書構成や利用状況の分析について教育指導課と連携を図る予定。 ・司書教諭と連携した読書指導のあり方について、平成29年度に検討を行う
		団体貸出用図書の実施	30年度達成予定	団体貸出用図書冊数	■学齢期の子ども向け団体貸出図書の購入	□同左	□同左				学校への団体貸出図書配本事業として読書支援用団体貸出図書を845冊新規購入した。合計8473冊所蔵。
		学校巡回便事業の本格実施（読み物・調べ学習・朝読書支援用図書の配送）	30年度以降継続	団体貸出実施回数・冊数			□学校巡回便事業の本格実施	□同左	□同左		平成30年度以降実施予定
		ニーズを踏まえた学校図書館との連携のありかたの検討（検討事項）									平成29年度中に、学校図書館を利用する生徒及び教員を対象としたアンケートを実施する
		*児童・生徒の学習活動とリンクした情報アクセス・活用手法の紹介	従前の取り組みを継続	満足度調査結果（学校図書館の蔵書・居心地・利便性・学校司書・授業への貢献度など〔子ども・教員対象〕）	■学校司書と教員が協働した子ども向けの情報収集や情報活用方法の紹介授業の検討・実施	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	学校図書館の利用案内や日本十進分類法の説明等についてオリエンテーションを教員と協働して検討・実施した。
		*学校図書館による新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成			■学校図書館目録の新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成・配布	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	学校司書による新刊案内や、生徒と協働しておすすめ図書だよりの作成を検討・実施した。
		*それぞれの子どものニーズに合った本の紹介			■子どもとの積極的な会話を通じたニーズの把握とニーズと教育的な見地に基づく本の紹介	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	子どもとコミュニケーションをとって興味のある本を紹介したり質問に答えたりした。また、図書館利用傾向を把握して図書の購入に生かした。

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
子ども読書活動の推進 (最重要施策)	a. 読書習慣の育成 学齢期の読書習慣を育てる (学校図書館支援)	* 小学校の学校図書館支援	従前の取り組みを継続	満足度調査結果 (学校図書館の蔵書・居心地・利便性・学校司書・授業への貢献度など [子ども・教員対象])	■ 小学校の司書教諭への学校図書館運営に係る情報提供とアドバイス	□同左	□同左	□同左	□同左	7月～8月に学校司書配置校区9小学校の環境整備に10人の学校司書が学校図書館支援グループと連携を取って取り組んだ。蔵書データ入力期間の12月～1月に、データ入力終了後、学校司書配置校区小学校の分類ラベルの貼り替えに着手した。
		* 教員の授業づくりの支援			■ 学習指導要領を踏まえた学校司書による教員の授業づくりの支援	□同左	□同左	□同左	□同左	教諭の依頼を受けて、学校図書館資料を提供したり、市立図書館の調べ学習用団体貸出を利用して資料を提供したりした。授業で学校図書館を使ってもらえるよう、教諭とのコミュニケーションに努めた。
		* 学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討			■ 学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討	□同左	□同左	□同左	□同左	放課後開館の実施は2中学校。懇談期間中等の特別開館は10中学校が実施した。
b. 情報活用能力の育成	図書館における情報活用能力育成	子ども向け図書館活用講座の開催	30年度以降継続	開催の有無及び回数・参加者数			□子ども向け図書館活用講座の開催	□同左	□同左	「子ども司書連続講座 めざせジュニアライブラリアン」を開催した。(4回 参加者36人)
	学校における情報活用能力育成支援	図書館を活用した教員の授業作り支援	30年度以降継続	資料提供回数・冊数			□学校図書館を活用した授業づくりを学校司書が支援	□同左	□同左	平成30年度以降支援開始予定。
	学校と連携した情報活用能力育成	調べ学習コンクールなど学校教育部との共催による各種連携事業の推進	従前の取り組みを継続	開催の有無及び回数・参加者数	■ 調べ学習コンクール・朗読大会ほか、学校教育部との共催事業の実施	□同左	□同左	□同左	□同左	「第5回中学生の調べ学習コンクール」11/19-12/18実施、出展：中学生165人 「第4回こころをつたえよう！朗読大会」1/22実施、小中学生28人出場
c. 推進計画策定	第3次子ども読書活動推進計画の策定	第3次グランドビジョンを踏まえた第3次子ども読書活動推進計画の策定	28年度達成予定	計画の策定・未策定	■ 推進計画策定					第3次子ども読書活動推進計画を策定した。

【運営方針④】魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
a. 各図書館 施設の役割分 担と連携	中央図書館 全館の司令 塔機能を果 たす	各種サービス（児童・障害者サー ビス、学校図書館支援等）のセン ター機能を果たす	28年度以降継続	各サービス種別単位の 全館のマネジメント体 制の確立・未確立	<input type="checkbox"/> 市立図書館の サービス種別 単位の明確化 <input type="checkbox"/> サービス種別 単位ごとのマ ネジメント体 制の確立 <input type="checkbox"/> サービス種別 単位ごとのサ ービス方針の 策定 <input type="checkbox"/> サービス方針 の全館共有化	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	（児童サービス） 第2次枚方市子ども読書活動 推進計画に基づき、乳幼児か ら中高生までの読書活動を全 館で推進した。 子ども読書活動推進事業と して、子ども読書週間期間に 全館で「ひらかた絵本まつ り」を開催した。 （障害者サービス） 障害者サービスに全般に関わ る事業の企画及び調整、点字 及び録音資料等の相互協力窓 口、障害者サービス用資料の 自館製作に関わる図書館協力 者（音訳など）に対する研修 等の機能を担った。 （学校図書館支援） 読書支援用団体貸出は小学校 23校に23,446冊貸出した。 平成29年度実施に向けて児 童サービスグループ担当の読 書支援用団体貸出を解消し、 学校への団体貸出図書配本事 業に一本化させた。 調べ学習用団体貸出の依頼研 修は小中学校119件で、 7,496冊貸出した。 調べ学習用団体貸出の配送に ついて教育総務課の学校園連 絡便（別便）の活用を試行し た。申込40件
		市民ニーズの把握と図書館サー ビスノウハウの蓄積		市職員による窓口サー ビスの維持	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なサー ビス提供及び図 書館政策の企 画・立案能力の 維持・育成のた めのサービスノ ウハウの蓄積及 び市民ニーズの 把握	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	・中央図書館及び蹛野・牧野 を除く分館において市職員に よる窓口サービスを実施した ・窓口アンケート、スマホア ンケート等を実施し、市民 ニーズの把握に努めた
		図書館政策の企画・立案		図書館政策企画・立案 担当者（または部署） の設置・未設置	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館政策の 企画立案体制の 構築	□左記体制を維 持	□左記体制を維 持	□左記体制を維 持	□左記体制を維 持	□左記体制を維 持	館内委員会制度等を整理し、 図書館政策の企画・立案体制 を構築した。
		指定管理者制度導入後の分館の運 営状況のチェック		指定管理者に対する指 摘事項の改善率	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者の 評価基準及び 評価手法の確 立 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な連絡 調整会議の開 催	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左	□同左

取り組みの方向	施策		具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況
						平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
a. 各図書館 施設の役割分 担と連携	中央図書館	全館の司令 塔機能を果 たす	選書の拠点機能を果たす	28年度以降継続	中央図書館を核とした 選書方法の確立・未確 立	<input type="checkbox"/> 蔵書計画の改 訂 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制 度導入を前提 とした中央図 書館を核とし た選書システ ムの確立	<input type="checkbox"/> 左記に基づ く選書の 実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づ く選書の 実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づ く選書の 実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づ く選書の 実施	蔵書計画の改訂作業を行った ほか、指定管理者制度導入に 係る中央図書館を核とした選 書システムを確立した。
			<input checked="" type="checkbox"/> 蔵書計画の改訂 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制 度導入を前提 とした中央図 書館を核とし た選書システ ムの確立				→			
b. 効果的・ 効率的な図書 館運営	生涯学習施 設と図書館 の複合施設 への指定管 理者制度の 導入	生涯学習施 設と図書館 の一体的な 運営	蹠跏・牧野の複合施設への制度導 入	28年度達成予定	制度導入の実施・未実 施	<input checked="" type="checkbox"/> 制度導入（蹠 跏・牧野） →					平成28年4月に蹠跏・牧野 図書館に指定管理者制度を導 入した。
			蹠跏・牧野を含む複合施設6施設 への制度導入	30年度達成予定	制度導入の実施・未実 施		<input type="checkbox"/> 制度導入（蹠 跏・牧野・楠 葉・菅原・御 殿山・津田） →				平成30年度以降導入予定。
			民間ノウハウを活かしたサービス 向上	28年度以降継続	満足度調査	<input checked="" type="checkbox"/> さまざまなイ ベントの開催 <input type="checkbox"/> 直営館との ジョイントイ ベントの開催 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習市民 センターとのコ ラボ事業の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左
		子ども読書活動の推進	学校司書派遣校数	<input checked="" type="checkbox"/> 10校への学 校司書派遣	<input type="checkbox"/> 10校への学 校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学 校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学 校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学 校司書派遣→	平成26・27年度3校に学校 司書を配置した。平成28年 度には新規7校を加えて、計 10校に配置した。	
				<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理館で の開館時間帯 の延長・開館 日数の増加 <input checked="" type="checkbox"/> 日数・時間帯 の増加・延長 に伴う利用状 況調査の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 利用状況調査 の結果を踏ま えた多くの効 果が期待でき る指定管理館 での開館時間 帯の延長・開 館日数の増加 <input type="checkbox"/> 中央図書館に おける開館日 数の増加、開 館時間帯の拡 大に係る検討 結果を踏まえ た対応	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理館において、開館 時間帯・開館日数の拡大を行 い、開館時間が従来の約 1.5倍となった。 ・利用状況調査を行い、直営 館が減少している中、入館者 数・貸出冊数ともに増加した ことが判明した。 ＊蹠跏は来館者数が平成27 年度から24.7%、貸出が 9.1%増加した ＊牧野は来館者数が平成27 年度から29.8%、貸出が 7.5%増加した 	
				<input checked="" type="checkbox"/> 各サービス種別等 を踏まえたグ ループ編成	<input checked="" type="checkbox"/> 全館一体と なったサービ ス提供に必要 なサービス種 別等を踏まえ たグループ編 成	<input type="checkbox"/> 各グループを より有効に機 能させるため に必要な管理 運営体制の検 討	<input type="checkbox"/> 検討結果を踏 まえた管理運 営体制の構築 に向けた取り 組み	<input type="checkbox"/> 左記の継続	<input type="checkbox"/> 左記の継続→	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書配置校の増加に伴 い、学校図書館支援グループ の体制整備を行った。 サービス種別単位のグループ 編成を実施した
				資料の充実	28年度以降継続	資料費	<input checked="" type="checkbox"/> 生み出した資 源に見合った 資料費の確保 と資料の充実	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成28年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
b. 効果的・ 効率的な図書 館運営	市立図書館コンピュータ システムの更新と情報関 連機器のさらなる導入の 検討	市立図書館コンピュータシステム の更新と学校図書館システムとの オンライン化	28年度以降継続	*システム更新の実 施・未実施 *学校図書館システム とのオンライン化の実 施・未実施	■市立図書館コ ンピュータシ ステムの更新 ■学校図書館シ ステムとのオ ンライン化 □学校図書館の 利用状況の学 校への情報提 供と状況分析 に基づく魅力 ある蔵書の構 築	□システムの運 用	□同左	□同左	□同左	→	・図書館コンピュータシステ ムを更新した。 ・学校図書館システムとのオ ンライン化を行った。 ・学校図書館の蔵書を市立図 書館のシステムとデータベー ス化・オンライン化させるこ とで、市立図書館の蔵書約 127万冊も検索できるよう になった。
					□システムの運 用	□同左	□同左	□同左	□同左		
d. 職員の知 識・技術・能 力の育成・継 承	核となる専門的スタッフ の計画的な育成	専門的な知識・技術を持ったス タッフの計画的な育成（図書館内 部での研修実施・外部研修への職 員派遣） （研修内容事例）	28年度 以降継続	育成研修開催・ 派遣回数及び参 加者数							以下の取り組みを行った。
		*レファレンス・IT関連の研修			□育成計画に基 づくレファレン ス・IT関連の 研修の実施	□同左	□同左	□同左	□同左	国会デジタルコレクションの 操作研修を実施した。（国会 図書館職員による研修1回、 30人参加）	
		*選書技術関連の研修			□育成計画に基 づく選書技術関 連の研修の実施	□同左	□同左	□同左	□同左	選書会議やリクエスト検討会 議などを通じ、選書に係る情 報を共有化し、選書技術の向 上を図った。	
		*子ども読書活動関連の研修			□育成計画に基 づく子ども読書 活動関連の研修 の実施	□同左	□同左	□同左	□同左	児童書の書評作成や読み聞か せ講座など読書活動関連の研 修を実施した。（3回 67人 参加）	
		*行政職員としての知識・技術関 連の研修			□育成計画に基 づく行政職員と しての知識・技 術関連の研修の 実施	□同左	□同左	□同左	□同左	左記具体的な取り組みの観点 も踏まえた「枚方市立図書館 人材育成計画」策定に向けて 検討を進めた。	
		*図書館政策の企画・立案関連の 研修			□育成計画に基 づく図書館政策 の企画・立案関 連の研修の実施	□同左	□同左	□同左	□同左	左記具体的な取り組みの観点 も踏まえた「枚方市立図書館 人材育成計画」策定に向けて 検討を進めた。	
	専門的スタッフの計画的 な配置	現在まで蓄積した知識・技術の継 承と向上が可能な体制の構築	28年度以降継続	専門的スタッフの司書 率	□計画的な専門 職員の育成と配 置	□同左	□同左	□同左	□同左	→	・平成28年度の司書率（正 職員・任期付職員合計）は、 82.6% ・左記具体的な取り組みの観 点も踏まえた「枚方市立図書 館人材育成計画」策定に向け て検討を進めた。

(自己評価)枚方市立図書館第3次グランドビジョンの平成28年度の進捗状況については、「一部進行が遅れている部分もあるが、概ね良好に進行している」と評価する